

# 睡眠時無呼吸症候群外来について

- ・睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome:SAS）は、睡眠中の気道閉塞によるイビキや無呼吸のため熟睡出来ず、日中、眠気におそわれミスや事故の原因となるのが特徴です。また、高血圧症や糖尿病、心筋梗塞、心不全、脳梗塞などといった病気の誘因となることがあります。
- ・眠気は自覚しにくいことも多く、睡眠時無呼吸症候群が疑われる場合には、適切な検査を受ける必要があります。

## 以下の症状や病気はありませんか？



- 大きなイビキ
- 日中の眠気
- 熟睡感がない・・・
- 様々な生活習慣病（糖尿病、心筋梗塞、高血圧症）

## 問診⇒検査⇒診断⇒治療までの流れ

### ●問診

- ①医師の診察を受けていただきます。
- ②睡眠に関するアンケート、身長・体重・血圧などの基本検査を実施します。
- ③ご自宅にて検査します。（装着法の説明後、簡易検査の機器をお貸しします）

### ●簡易検査

- ①身体や手首、指、鼻にセンサーを付けて一晩就寝します。

※睡眠中に無呼吸の状態が発生すると、血液中の酸素飽和度が低下します。この状態を一晩、測定記録し簡易的な診断を実施します。（ご自宅での検査となります）

※簡易検査後、さらに詳しい検査が必要な場合、睡眠ポリグラフ（PSG）検査を行うことがあります。

### ●睡眠ポリグラフ（PSG）

- ①簡易検査で確定診断が必要とされた場合、全身に無刺激な電極を付け、睡眠中の状態を詳しく検査します。

### ●治療法の決定

- ①睡眠時無呼吸症候群と診断された場合、一般的な治療法として、眠っている間にCPAP（シーパップ）という装置を、自宅で日常の睡眠中に使用します。鼻にマスクをあてて、そこから空気を送り込み気道が閉塞することを防ぎます。

### ●外来通院

- ①CPAP療法は、毎月、自宅で使用しているCPAP機器に記録されているレポートから装着の効果、状態などを確認します。同時に基礎疾患、合併症の状態なども診察いたします。

### ●睡眠時無呼吸症候群に関するお問合せ

茨城県立中央病院 人間ドック科 ☎0296-77-1121 内線 2158